



## カセットボンベやスプレー缶 (エアゾール製品等) の排出にご注意 !!

昨年12月16日、北海道札幌市内で爆発火災事故が発生しました。現在も関係機関により調査中ですが、エアゾール製品の内容物が屋内で大量に噴射され、これに引火したことが原因とみられます。

スプレー缶やカセットボンベは、以前からガス抜きキャップが装着された製品への転換が進められ、ガス抜きキャップの装着率は約99%、カセットこんろのヒートパネル化は100%となっています。(小型品など装着の必要のない一部製品を除く) 充填物が残ったまま不適切な方法で穴を開けると火災が発生する要因になりかねませんので注意してください。

市ホームページ内のゴミの出し方マニュアル「カン類(金属類)」では、スプレー缶やカセットボンベは、最後まで出し切ってから廃棄することとしています。

また、(一社)日本エアゾール協会では、エアゾール製品等の適切な廃棄方法を示していますので、その方法に従い廃棄するようお願いいたします。

スプレー缶の場合↓

正しいごみへの出し方 4step!

step 1 缶を手で振って中身の有無を確認してください。

step 2 「シャカシャカ」「チャブチャブ」など音がしたら、まだ中身が残っています。必ず使い切りましょう。

step 3 音がしなくても、まだ中身やガスが残っている場合があります。「ガス抜きキャップ」で出し切ってください。

step 4 地域の「ごみ出しルール」を守って出しましょう。

ガス抜きキャップを使う時には…

中身を使い切ってから、

風通しが良く、火気のない屋外で、風下に向けて、人などにかからないように

新聞紙などに吹き付けるなどをして、周囲への飛散にご配慮ください。

カセットボンベには、[ガス抜きキャップ]は付いていません。

カセットこんろはヒートパネルを搭載しています。(2007年4月生産分より)

ヒートパネルとは? (省燃加温装置)

カセットボンベを適温に温める事で、最後まで強い火力を維持し、カセットボンベの中身を最後まで使い切ることができます。

カセットボンベの燃焼についての質問は、

一般社団法人日本ガス石油機器工業会  
「カセットボンベお客様センター」  
☎0120-14-9996

※(一社)日本エアゾール協会リーフレット抜粋

### ★充填物を使い切る、適切に出し切ることを守りましょう!

- ①中身を最後まで使い切る。
- ②缶を振って音を確認するなど、中身が残っていないか確認する。
- ③ガス抜きキャップがある製品は、火気のない風通しの良い屋外でガス抜きキャップを使用して中身を出し切る。

## 第42回全国消防職員意見発表茨城県大会が開催されました!

2月12日、北茨城市民ふれあいセンターで第42回全国消防職員意見発表茨城県大会が開催されました。県内の消防本部から24人がそれぞれの思いを発表しました。

当本部では鹿島拓人消防副士長が参加し、「消防士がいなくなる日」という題名でAI<sup>(※1)</sup>やIoT<sup>(※2)</sup>を導入した次世代の消防力への可能性や技術との向き合い方について発表しました。

(※1) エーアイ: 人工知能

(※2) アイオーティー: モノのインターネット。今までインターネットにつながっていなかったモノをつなぐこと



## 東日本大震災から8年

3月11日で東日本大震災から8年が経過しました。大規模災害はいつ起こるか分かりません。いま一度、災害に対する備えを確認しましょう。



### 誰にでもできる「日常備蓄」

#### 少し多めの買い置き=日常備蓄

大災害が発生し、インフラが寸断される場合を考えると、支援が届くまでの少なくとも1週間分は、誰にも頼らず暮らせるように備えることが「日常備蓄」です。なくなったら困るものを買って置き、古い順から使うようにすれば特別なものを備える必要はありません。

#### 家庭内避難と家庭外避難

避難には、家庭内避難と家庭外避難があります。家庭内避難とは、日常備蓄しておいたものを利用し、自宅で避難生活を送る在宅避難のことです。家庭外避難とは、自宅には住むことができず避難所暮らしになる場合をいいます。

#### 備蓄の考え方の違い

家庭内避難と家庭外避難では、備蓄の考え方がまったく違ってきます。家庭内避難は在宅避難なので家にある備蓄品を最大限に利用できます。しかし、家庭外避難は、命を守ることが最優先になり、必要最低限のものを持って避難することで精いっぱいです。よって、家庭外避難は避難所まで持ち歩ける必要最低限のものを入れた「非常用持ち出し袋」が必要なのです。必要最低限のものは人により異なるので、震災時すぐには手に入らないミルクや常備薬など各自それぞれが必要なものを用意することが大切です。



### 備蓄の5つのポイント

#### 1. 冷蔵庫は食糧品備蓄庫

一般家庭であれば、冷蔵庫の中などの買い置き食料品が1~2週間分あるといわれています。まずは冷蔵庫の中のものから食べるといった順序を考えて食べつなぎましょう。

#### 2. 生活水の重要性

断水になると、最も困るのが生活水。いざというときに備えて、常に水を張っておきましょう。

#### 3. オール電化の必需品

オール電化の場合、停電になった時にお湯を沸かすこともできなくなります。カセットこんろを用意しておきましょう。

#### 4. ひとり暮らしの備蓄

コンビニ利用の多いひとり暮らしの方には、1週間分の食料品がない傾向にあります。コンビニに立ち寄ったときは、いつもより少し多めに買ってカップ麺など備蓄できるものを買って置きましょう。

#### 5. 使用期限をチェックしましょう

食品の賞味期限のように、電池、薬、使い捨てカイロなどにも使用期限があります。いざというときに慌てないように、定期的に点検しましょう。



■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119